

1. プログラムの履修・修得状況

履修者数・修了者数

	2024 年度	累計（2023 年度以降）
履修者数	64	102
修了者数	58	94

2. 学修成果

成績分布

年度	履修者数	秀(S)	優(A)	良(B)	可(C)	不可(D)	失格(F)
2024	64	8	29	17	4	1	5

3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

授業評価アンケートにおいて、以下の項目で5点満点中3.9点以上の高い評価を得た。(n=51)

- ・自分で調べ、考える姿勢が身についたか
- ・社会におけるデータ・AI利活用について理解できたか
- ・データリテラシーに関する力がついたか
- ・データ・AI利活用における留意事項について理解できたか
- ・授業内容はよく理解できたか

4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

授業評価アンケートにおいて、以下の項目で5点満点中4.1点以上の高い評価を得た。(n=51)

- ・この授業を後輩等他の学生に履修を勧めたいと思うか
- ・授業は総合的に見て満足のいくものだったか

5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2022（令和4）年度入学生から導入された新カリキュラム科目のため、該当学年（2・3年次）しか履修することができず、履修率は高くない。今年度は履修登録前により多くの学生が履修するように、該当学年を対象にプログラムの周知を行った。履修率は昨年より0.69ポイント上昇した。履修率向上のため2025年度から履修の手引きにプログラム概要を掲載する。

履修率

年度	履修者数	学生数	履修率	備考
2024	64	3,793	1.69%	※2022・2023年度入学生のみ履修可能

学部別履修者数

年度	履修者数	経営	人文	心理	教育	スポーツ	健康栄養
2024	64	24	13	13	0	14	0

6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

2023（令和5）年度が初めての開講となり、プログラムを履修した学生が卒業するのは2025（令和7）年度末となる。よって現時点で本プログラムを修了して卒業した学生はいない。今後、本プログラム修了者の採用状況や企業評価を把握できるように、学内企業展の参加企業へ実施している企業アンケートを活用するなど、把握手段について検討していく。

7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

前述の企業アンケートを活用して、卒業生の業務能力の評価や大学に期待する取組みなど、企業から見た大学教育の評価について調査する。また、大学機関別認証評価受審後4年を超えない年限ごとに実施している学外有識者による外部評価や地方自治体との連携協定を活用して、プログラム内容・手法等について意見を聴取する機会を設けて、改善につなげていく。

8. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

第1回目の授業での授業概要の説明と、第2回目・3回目での社会で起きている変化についての講義の中で、「学ぶことの意義」を説明し、その中で数理・データサイエンス・AIの「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」に関して説明して、学生に理解させている。

授業評価アンケートにおいて、以下の項目で5点満点中4.1点以上の高い評価を得た。（n=51）

- ・この授業に積極的に取り組んだか
- ・授業内容への興味・関心が増したか

9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

科目担当教員は授業時間内での教え合いや質問のしやすい雰囲気づくりを重視して授業を進行している。分からないことは近くの学生と教え合いができるよう促し、教室全体の活性化をはかっている。

授業評価アンケートにおいて、以下の項目で5点満点中4点以上の高い評価を得た。（n=51）

- ・教員の説明はわかりやすいものだったか
- ・授業内容はよく理解できたか
- ・教材（配布資料、板書、パワーポイント、ICT機器など）の使い方は効果的だったか
- ・課題は適切だったか

自由記述項目においても「実践的な内容だった」、「質問したら分かりやすく返答してもらえる」、「楽しく学べる」といった好意的回答が寄せられた。学生の反応を見ながら授業進行することを評価する学生がいる一方で、少し授業スピードが速いという意見もあった。